

まきはら

第35号

平成26年
8月13日発行

議会だより

一般質問は、
インターネット
「牧之原市のホームページ」で
見ることができるのじゃ。

一般質問牧之原市

検索



オキツグくん

国庫補助金などの増額による補正予算可決…	2
当局を問い質す！ 一般質問……………	6
常任委員会視察報告……………	14
新シリーズ「一部事務組合紹介」……………	18

総務建設委員会



復興状況の説明を受ける（宮城・女川町）

文教厚生委員会



最先端の地域医療を学ぶ（千葉・旭市「国保旭中央病院」）

補正予算を可決

定例会

6月3日～6月20日

増額による



市議会では5月よりクールビズを実施

今回の定例会では、平成26年度補正予算をはじめ、牧之原市相良地域火災予防条例の一部を改正する条例など13議案が提出され、いずれも原案どおり可決した。

また議員発議により、1件の意見書が提出され、全員賛成で可決された。

なお一般質問は、6月12日に行われ、6人が当局の見解を質した。

※本会議で、質疑の行われた議案は以下のとおり。

一般会計補正予算

【全員賛成可決】

歳入歳出、各7558万円が追加された。増額の内訳としては市道片浜静波線の勝間田川にかかる「港橋」の橋梁補修工事費と耐震補強工事費、またマイナンバー制に対応するための設計費用や「少子化対策事業」及び「ふるさと納税推進事業」に係る経費などが計上された。

社会保障・税番号制度導入のためのシステム改修費・整備設計費の計上について

地域少子化対策強化事業に資する男子力・女子力アップスクールの経費計上について

Q マイナンバー制度構築のシステム改修費の総額及び市の負担額は、また制度構築の総額は。

(大石和)

Q ① 婚姻、出産が見込める世代への啓発事業ということだが、どのように周知し展開していくのか。

A システム改修に係る委託料は1742万3000円。全額国庫負担と一部市負担があるが、市負担分は交付税措置されて市の負担はない。市における構築総額は現時点ではわからない。

② 事業のもたらした影響や、その後の波及効果結果の調査はするのか。

③ 事業の最終目的が成婚、出産による少子高齢化対策ならば、単年で成果はでないが数値目標を設定するのか。

(平口)



A ① 広報誌やフェイスブック、ポスター掲示などの各種媒体を使う。周知に課題はあるが、消防団など各種団体への「呼びかけ」が効果的ではないかと考えている。

② 恋愛に積極的に挑む若者の意識改革が目的で、「婚活パーティー」とは異なるものである。参加者それぞれにアンケートをとり、今後の検討資料としたい。

③ 出生率減少に歯止めをかけるのが最終目標だが、この取り組みだけではすう勢に影響はないと思われる。むしろ自身に「自信を持てた」と考える若者が増える事がその第一歩となるのではないかと考える。

牧之原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

【全員賛成可決】

施行令一部改正に伴い、後期高齢者支援金など課税額及び、介護納付金課税額の限度額をそれぞれ引き上げるもの。

Q 改正による中間所得者層の負担はどうか。

(藤野)

A 改正は負担能力に応じて高額所得者層は負担増となり、将来的に中間所得者層への負担を緩和しようとするものである。後期高齢者支援金分は課税所得600万円位から負担増、800万円位が上限。また、介護納付金については、課税所得が450万円位で負担が増え、課税所得550万円位でほぼ上限に達すると見込んでいる。

歳入歳出7558万円の

国庫補助金など

専決処分の承認を求めることについて
(牧之原市条例等の一部を改正する条例)

【賛成多数可決】

地方税法等の改正を受け、市税条例を一部改正するもの。

法人税割の税率引下げ
軽自動車税の税率の引き上げが主なもの。

Q ① 消費税値上げに加え軽自動車税の増税の明確な理由はなにか。

② 値上げによる歳入の増加額はどれくらいか。
(藤野)

A ① 自動車関連税制全体の中で負担の適正化を図るものである。

② 平成27年度において約600万円である。

《反対討論》

当市では軽自動車税の納税義務者が1万7800人いる。自動車取得税を減税・廃止し、

一方で減税のつけを庶民の足である軽自動車税の増税で賄おうとすることに道理がない。
(藤野)

《賛成討論》

法人税割の税率の引き下げと軽自動車税の引き上げなどという自動車関連税の適正化を図るのが主な内容。

今回は上位法の改正によるものであり、妥当である。
(名波富)

賛成	14
反対	1

《賛成》 平口 大石^健 大井 名波^喜
植田 村田 良知 澤田 鈴木
太田 本杉 中野 名波^富 大石^和

《反対》 藤野

さる5月、牧之原市、吉田町ろうあ者代表より「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書」が牧之原市議会議長に提出された。協議した結果、議員発議として上程され全員賛成により下掲の意見書が可決され、衆参両議長、内閣総理大臣らに提出した。

「手話言語法」制定を求める意見書

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系をもつ言語である。「音声聞こえない」「音声で話すことができない」など聴覚障がい者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られてきた。

平成18年12月に国連総会において「障害者権利条約」が採択され、「手話は言語」であることが明記されている。

障害者権利条約の批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、平成23年8月に成立した「改正障害者基本法」では「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められた。

また、同法第22条では国・地方公共団体に対して情報保障施策を義務づけており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に知らせ、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要であると考えます。

よって本市議会は、政府と国会が下記事項を講ずるよう強く求めるものである。

記

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に知らせ、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法」を制定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月20日

静岡県牧之原市議会

宛先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣

常任委員会への付託議案審査

—総務建設委員会へ付託された議案の主な審議内容を報告します—

※今回は、文教厚生委員会への付託はありませんでした。

総務建設委員会

委員長 本杉 光雄

牧之原市相良地域火災予防条例の一部を改正する条例

消防法施行令が一部改正され、火気器具などの取扱いに関する基準について、市の火災予防条例を改正するもの。

内容は、祭典や縁日、花火大会など多数の人が集まる催しにおいて、火気器具などを使う場合は、消火器の準備を義務付ける規定を追加するもの。

【追加説明】

今回の改正は、自治会で行う盆踊りや神社の祭典も対象となりこの条例は、8月1日からの施行であるため、7月の自治行政連絡会で各区長にも説明をする。

牧之原市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

「消防団員等公務災害補償責任共済等に関する法律施行令」が一部改正されたことに伴い、市消防団員の退職報償金支払額について改正を行うもの。

主な内容は、消防団員の処遇改善を図ることを目的に、消防団員退職報償金の支払額を増額するもので各階級ごと勤続年数に応じて定められている金額を増額するもの。

Q 国の基準は、5年ごとにアップすることになっているが、当市は1年ごとである。近隣市町はどうか。

A 菊川市は、5年ごとであるが、島田市・御前崎市・吉田町は牧之原市と同じで1年ごとである。

牧之原市水防協議会条例の一部を改正する条例

水防法一部改正に伴い、市水防協議会の組織構成について改正を行うもの。

内容は、市水防協議会の委員について、今まで25人以内となっていたものを、具体的な委員数の規定を廃するもの。

牧之原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、市の国民健康保険税条例の一部を改正するもの。

主な内容は、「後期高齢者支援金等課税限度額」を16万円に、介護納付金課税限度額を14万円に、それぞれ限度額を2万円引き上げるもの。

全ての議案の質疑が終了した後、各議案の討論・採決を行った。4議案とも討論はなく、採決の結果全員賛成で原案のとおり可決された。



団員数544人の牧之原市消防団



『オキツグくんがゆく!!』

～まきのはら議会マメ知識～

ねえ、オキツグくん：今日はホンキの質問なんだけどお。なんじゃ!? こなた（あなた）の意は、今まで酔狂で質問しておったのか！ えへへ♪ まあまあ！ 今回も提出されるのが決定したんだけど、『意見書』っていつたい何なんですかあ？ おお！ いい質問ですね（池上彰風に） いや下手なモノマネはいから！ いらないから！ そういうの求めてないからマジで！ （…ぐっ！ ワシの威厳とか、もうないのか！） コホン、意見書とはな、「地元・地域のためになる」コトを国会や関係行政に議会の意思として提出するんじゃ！

地元のためになる？ ン、難しい言い方をする「公益に関する」と言っんじやが、不特定多数の利益になるコトと言えは分りやすいかの。 ふん。どんなコト書いてもいいの？ 公益に関するのなら、法律の制限はないの。 ちなみに国会に出すときの相手は衆議院議長および参議院議長だ、モチロン総理大臣をはじめ各国务大臣や県知事にも出せるぞ！ スゴイね!!（キラ☆） どうすれば出せるの？ おおまかに分けて2つの流れがあるな。 1つは、住民からの請願・陳情を受け、議会が判断し決議する方法。 いま1つは、議会（議員）が独自の意思で決議し決議する方法じゃな。 どちらも、牧之原市議会では議員総数の4分の3の賛同があつてはじめて議会にかけられるのじゃ！ ふむふむ。 メモメモ… ただな… 出した意見書は絶対に受け取らねばならんだが、回答をする義務も、積極的に動くコトも法的な義務は課せられてないんじやよ。 そうなんだ… じゃあ意味ないのかな？



オキツグくん

まきとくん

そんなコトはないぞ！ 地方議会はやはり市民の声がイチバン届きやすい議会じゃからの！ その地方議会からの声を重んじると言っコトは、国民の声を重んじると言っコトじゃからな！ 国民の声は「大きいと！」 そういうことじゃ！ ところでオキツグくん！ 次の日曜のカラオケの約束！ おおワシは某映画主題歌『ありのままで』を歌うぞ。 フフフフフン♪ 男2人はやっぱり寂しいし恥ずかしいから、ゴメンこれ！（紙を渡す） 何じゃ？ コレは… ン!? 『行けん書』… その日はボク、合コン行ってくるよ♪ じゃあねっぐっ、ワシも連れてってくれんかの（泣）

平成26年度議会報告会のお知らせ

市議会では、本年度も下記日程で議会報告会を開催いたします。
多くの市民の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日

10月3日（金） 牧之原市史料館
10日（金） 榛原文化センター
16日（木） 萩間公民館
17日（金） 勝間田会館
24日（金） 細江コミュニティセンター
31日（金） トーク地頭方

担当議員

（名波^富・太田・良知・名波^喜・大石^健）
（名波^富・太田・良知・名波^喜・大石^健）
（大石^和・本杉・澤田・植田・藤野）
（中野・鈴木^千・村田・大井・平口）
（大石^和・本杉・澤田・植田・藤野）
（中野・鈴木^千・村田・大井・平口）

開催時間

19：00～21：00（予定）

報告内容

- ①平成26年度予算について
- ②平成25年度決算について
- ③総務建設委員会活動報告
- ④文教厚生委員会活動報告



※地区に関係なく、どこの会場でも参加できます！

大石 健司



問 牧之原市の歴史教育・認識は

答 固有の領土と認識し、毅然と臨む

富士山静岡空港開港5周年を迎え「政経分離」の流れが進む我が国と東アジア情勢の中で、本市における歴史認識、歴史教育の現状について伺いたい。

【問】 市内の小・中学校で使用する教科書の選定、採択方法は。

【答】 吉田町、川根本町とで構成する榛原地区の「教科書図書採択連絡協議会」で公正かつ適正に選定している。

【問】 緊張続く尖閣諸島や竹島問題をどうとらえ、インバウンド事業の推進を図るのか。

【答】 領土問題はひるむことない毅然とした態度で臨むべきだが、民間レベルの交流での信頼関係の構築も重要だ。

【問】 1月の「学習指導要領」改定を受けての市の認識と現場の対応は。

【答】 2月に市内全小中学校へ文科省からの文書を送付し、適切な対応を促す。



市内の中学校で使われている地理と歴史の教科書（左）と熊本県教育委員会が作成したわが国の全領土が載っている日本地図

【問】 教材として、各教室に日本の領土が正しい位置に描かれた地図を採用する考えは

【答】 とても素晴らしいアイデアだと思う。貴重な意見として前向きに検討する。

問 「ふるさと納税推進事業」の現状

答 7月から事業を開始する

【問】 記念品を出す市内業者・生産者の応募状況は。

【答】 現時点で20業者から23品目の申し込みあり。「お茶の詰め合わせ」「イチゴ」「自然薯」などが市を代表する特産品がそろった。市場価格で7000円以上のものもある。多くの市外の人を引き付ける記念品カタログができるようになる。

【問】 どうして高額寄附者を見越した「寄附1万円」で5000円相当の記念品という以外のパターンを設定しないのか。

【答】 高額寄附者には、さらに上のランクや複数の記念品選択などの提案や意見はいただいている。今年度中は試行期間として、記念品の希望状況を見ながら、財源確保と産業振興の観点から、今後検討を進めたい。

【問】 補正予算の歳入に計上された「寄附金85万円」の算定根拠は。

【答】 年間100人の方から1人1万円の寄附があると想定し、当初予算15万を引いた。

一般質問



中野 康子

問

口腔ケア推進への取り組み姿勢

答

歯科保健条例の制定を協議検討



「歯みんぐ」によるむし歯予防講座

団塊の世代が75歳以上となる2025年までには、概ね中学校区程度を単位として、24時間・365日の在宅医療や介護提供体制を構築し、高齢者がサービスを受けられる地域医療の構想が進められている。牧之原市の高齢化率は、4月1日現在26・8%で県下17番目である。住み慣れたここ牧之原市内で高齢者が安心して暮らし、適切な医療・介護サービスが受けられるためには如何にありべきか、どう対応すべ

きか。基本的な考え方や対応方針を質した。

にすべきとうたわれている。歯科保健条例を制定すべきではないか。

し、在宅療養者が診療を受けやすい体制を整えていく。

問 榛原総合病院は、医師・看護師の不足や医師

答 県条例がある。牧之

問 ジェネリック(後発)

の異動が激しいことから、開業医からは重篤患者の紹介が出来ないとの声が聞かれる。地元で開業する医師を育て、地域医療

答 原市は本年度の「歯科保健推進会議」において協議検討をお願いする。

医薬品の普及は患者負担の軽減や医療保険財政の改善に資することから、厚生労働省は使用促進の

る医師を育て、地域医療

問 ※「8020運動」を

問 ジェネリック(後発)

を守るため、市が積極的に開業医と総合病院の間を取り持つ考えはないか。

答 勧めている市内のボランティアグループ「歯みんぐ」は、紙芝居などで口

問 市民が賢い選択の出来る環境づくりが大切である。広報などによる普及啓発に取り組む熱意はあるのか。

答 院長を中心に対策会議を常時開催し、徳州会

答 学校の行事が多く制約もあるが、出前講座など

問 牧之原市の国保にお

グループ内からの医師派遣をお願いしている。医師不足は研修医制度の変更

答 学校行事が多く制約もあるが、出前講座など

問 牧之原市の国保にお

更に因るもので全国的な問題でもある。地元開業医との連携を密にしている。

答 学校の行事が多く制約もあるが、出前講座など

問 牧之原市の国保にお

問 「歯科口腔保健の推進に関する法律」には、

問 重度の障害者、寝た

問 牧之原市の国保にお

歯科疾患の予防に向けた取り組みが口腔の健康保持に極めて有効であるこ

問 重度の障害者、寝た

問 牧之原市の国保にお

とから、国及び地方公共団体の責務などを明らかに

答 歯科医師、ケアマネ

問 牧之原市の国保にお

※「8020運動」とは80歳で歯を20本残そうという運動

大石 和央



問 個人情報流出をどう防ぐか

答 システムと制度両面から対策講ずる

2016年1月から社会保障・税番号(マイナンバー)制度がスタートする。利便性が強調される一方、狙いどおりの成果があるのか疑問の声がある。また個人情報漏洩してなりすまし詐欺などの犯罪が増加している現在、制度構築に莫大な予算を投ずる疑問もある。

問 情報連携は、例えば、税の捕捉化など現状のシステムでもできている。これ以上のメリットはあるのか。

答 実際やってみなければわからない。

問 マイナンバー制度の概要についてお聞きする。

問 維持管理費及び費用対効果をどのように考えているか。

答 市民に個人番号を付番することにより、市民が各種手当の申請に際し、各関係機関を回って申請書添付の書類を揃える必要がなくなる。一方、行政にとっては市民へのサービス受給判定のために、手間のかかる各機関からのデータ照合が軽減される。そのための新たな制

問 市が特定個人情報保有することでのリスク、そのリスクをどのように

軽減・緩和するのかを評価する特定個人情報保護評価をどのように実施するのか。

答 総務省から示されており、各自治体が行う内容、取り扱う職員の数、対象住民の数などに区分けされ評価し、公表することになっている。

この評価書のチェック機能として、個人情報保護審査会が予定されている。

問 番号制度導入に伴う条例整備について伺う。

答 条例などの整備は必要で、例えば、特定情報の収集及び外部オンライン結合による提供などを

可能とする個人情報保護条例の改正が必要となる。

問 情報漏えいや不正利用等の緊急時に、市の判断で接続を停止する措置を規定する条例改正が必要ではないか。

答 全国共通の課題だと思っているので、対応を検討したい。



榛原庁舎4階の電算室

一般質問



名波 富幸

問 高齢者のためデマンド交通を 答 地域公共交通会議で検討していく

問 牧之原市の高齢化率も年々上昇し、6年後の平成32年には31・9%、9年後の平成35年には34%となり、3人に1人が高齢者となる。高齢化社会を迎え、通勤通学だけでなく、通院や薬局、スーパー、ホームセンターへの買物等必要な時に手軽に且つ低料金で利用できる、ドアツードアのデマンド交通に取り組む自治体が全国でも増加している。牧之原市でも5年後の本格運行を目指し検討会を立ち上げ検討していくべきと考える。

問 自主運行バス5路線の委託料は平成24年度分で約1億1270万円となっているが、この算定根拠は。

答 自主運行バスの運行経費から運賃収入を引いた欠損額を委託料としてしずてつジャストラインに支払っている。

問 この委託料を減額するには路線バスの本数を減らすか、利用者の増加を図り運賃収入を増やすことだと考えるが、当局は利用者増加に向けてどのような施策を取ったのか。

答 市のホームページや広報でのPR、自治会、地区長会の場で利用促進をお願いしてきた。これからも各方面に対し、積極的にPRしていくつもりだ。

問 自主運行バス5路線で乗車人員が0〜2人の時間帯が8系統ある。これらは減便を検討すべきだ。

答 他の市町との兼ね合いもあるが検討していきたい。

問 デマンド交通構築のための検討会、仮称「地域公共交通会議」を設置して検討していくべきだ。

答 現在設置してある「牧之原市地域公共交通会議」で検討していく。

問 この地域公共交通会議のメンバーは自主運行バスの許認可や補助金交付の決定などに関係する方々で構成されている。交通弱者のためのデマンド交通を考えるには、社会福祉協議会、商工会、社会福祉関係団体、老人会、区長会なども入れた検討会にすべきだ。

答 福祉関係団体や利用者の代表にも参加してもらい検討会を設置し検討していく。

問 デマンド交通検討のためには、70歳以上の高齢者や交通弱者を対象にアンケートを実施し、市民ニーズを把握すべきと考える。

答 予算も確保してあるのでタイミングを見て実施していく。また地域で

の勉強会も開催していく。

問 牧之原市議会総務建設委員会では平成23年1月から新公共交通システムとしてデマンド交通の導入を目指し調査研究を行ってきた。平成25年9月「新公共交通システム（デマンド交通）」の推進について」の政策提言書を市長に提出した。

答 議会の政策提言の重みを十分認識し、検討会で議論し高齢化社会に向かつて準備していきたい。



藤野 守



問 「介護保険法」の改正について

答 サービス内容の低下はない

問、指導していく。

介護保険制度は2000年4月に創設された。

当初から「保険あつて介護なし」と懸念され、制度の不十分な点が指摘されていた。

今回の改正は要支援1・2と認定された人へのサービスが市町村任せというものである。サービスが後退するのではないか。そもそも介護保険制度は「介護の社会化」の理念をもとに発足した。今回の法改正は「介護の自己責任化」というべき方向を目指しているのではないか。

問 同法案は要支援者の訪問・通所介護が保険給付で受けられなくなる。

法改正後のサービス内容は市町村の裁量任せとなるため、自治体の財政力により格差が生じることが予想される。当市におけるサービスの後退はないか。

答 要支援者が利用する訪問介護、通所介護を新しい総合サービス事業に移行する改正案である。

法案では多様なサービスが提供され、利用者本位のサービスが可能となるとされている。今後示される国のガイドラインを参考に方法、時期、内容などの事業計画を策定懇話会で検討していく。また、適切なサービスが提供できるよう事業所を訪

問 利用者への十分なサービスが可能なのか懸念される。

問 同法案は特別養護老人ホームの入所できる人を原則「要介護3以上」に限るとしている。「要

答 給付事業から地域支援事業となるが、介護保険会計から9割の支給はされるので、サービス内容は変わらない。

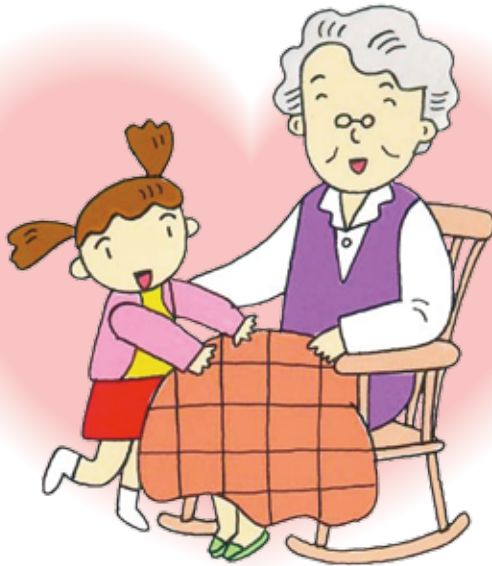
問 同法案は特別養護老人ホームの入所できる人を原則「要介護3以上」に限るとしている。「要

介護1・2」の人は現在待機者となっているにも関わらず、枠から除外される。家庭での介護が困難なため入所希望をしている家族の精神面、経済面での困窮が心配される。行政としてどのように対応するのか。

答 軽度の要介護者であっても、止むを得ない事情などによる特養への入所については、市の関与による仕組みなども検討し、対応していく。

問 同法案は介護保険に2割負担を導入しようとしている。当市の場合、現在の利用者の内、負担増の対象となる人は何パーセントいるか伺う。

答 国の法案によると、合計所得金額が160万円以上の所得者が2割負担となる。本市では要介護認定を受けている人の約5%と推計している。



安心の介護制度を

一般質問



平口 朋彦

問 子どもたちの安全体制の確立は

答 連携力強化を中心に対応する

問 今まで地域による高い『隣り近所力』で子どもたちの安全を確保してきたが、それに甘んじ本来講じねばならない対策が取られていないとすれば由々しき問題である。事件や事故が起きてしまっただけでは遅い。現状の安全体制とこれからの対策をお聞きた。

問 市内の小中学校の内、門扉のない施設や下校時放課後の防犯体制は。

答 正門扉があるのは13校中3校。敷地内に生活道路が併設されているなどの理由もあり対応は様々である。できる箇所には柵などを設置している。不審者侵入時をシミュレートした防犯教室や、下校時の危険意識の向上も図っている。

問 通学路の危険箇所の実数把握と対応は。横断歩道を使わずに横切っている箇所はないか。

答 「通学路の緊急合同点検」を実施。要対策とされた19カ所中、14カ所は対応済。それ以外に関しては注意喚起や通学路の見直しで対応。横断歩道を使えない箇所は18カ所。安全を確認して横断して戴いている。

問 標識、標示、信号機

問 市の新たな魅力を生み出す施策は

答 地域のあり方として今後は広域での連携や共有が進むが、こと経済面においては「地域間の競争」であると認識している。他市町に先んずるための戦略的プランをお聞きた。

問 集客力アップ、財政力アップを目指し、従前のイベントを発展させるのは勿論の事、新たに全国や世界各地から訪れて戴けるイベントづくりを考えているか。

答 などの設置は。法規上これらの設置が難しい箇所においても、カラー舗装などの「異物感」を出す事で注意を促せないか。

問 交通規制審議会で判断し施設整備を進める。路肩などのカラー舗装はできる範囲で進めている。

答 まずは地域の特性を生かした既存イベントの集客を高める。更に地域資源を発掘、再発見し、市が連携・協力し魅力創出を図りたい。

問 人気を博している「マキティ」、「チャーフイン」はそれぞれの団体のマスコトである。真の意味での「公式キャラ」を作る計画は。

答 その両者に地域キャラ「さかべっち」も加え、

公式キャラのつもりでゆるキャラグランプリを目指す指していく。「公式」は市民皆さんの声が大きくなれば考えていくが、今の所「2+1」で物語を作り売り込んでいきたい。

問 市長自身が考える人口推移の見通しと目標は。また観光誘客の目標値は。

答 全国的にも人口が減少して行く中で、当市の減少幅を緩やかにしていきたい。住んでいる人たちにとって人口が増えるのがいいのかというと、そうではない考え方もあり、個々人の幸せ感の基準がある。議会あるいは議員が人口5万人を目指せというならば議論をしなければいけないが、行政側が議論してきた事は9月に「第2次総合計画」基本構想案としてお示しする。また観光客については、震災前の年間140万人を目標としたい。

表者と「現在の課題」や「将来のまちづくり」などを実施しています。

総務建設委員会

牧之原市観光協会（役員、事務局、計11名）

との意見交換会を実施。

平成26年4月16日 9時より

相良庁舎4階 大会議室にて

当委員会としては、これまで2回実施した他団体との市民会議と同様に、

牧之原市における「市の地震対策事業について」「活力あるまちづくりについて」「観光協会の現状と抱えている課題について」の3点をテーマに掲げて幅広く意見交換を行った。

観光協会の平岡会長以下、参加者からの主な質問や要望、それに対する委員会側の回答は、次の通りである。

問 海水浴場を考えれば、「いのち山」として150号バイパスの嵩上げという発想は大事。津波避難タワーも、そういうものができるかわからない。

答 バイパスについては、関係各所でさまざまな案を検討中である。市ではワークショップで市民の意見を聞いて、津波防災まちづくり計画を進めている。タワーに関しては、議会でも補正予算の「付帯決議」や文書で各地区の意見を聞いて進んでいくよう行政に働きかけた。

問 ソフトボール大会を実施しているが、2020年の五輪に向け合宿などでもっと誘致をしていきたい。市や地域住民に「おもてなし」のPRをしてほしい。

答 自分たちもやれることがあると思う。観光協会のイベントには、もっと協力する必要があると感じている。

問 スポーツ大会やイベントなどを企画すると宿泊客の収容など市内だけでは足りない。球場や体育館なども、広域的に近隣市町の協力が不可欠である。行政の手助けが必要だし、どの市町も首長が「トップセールス」をしている。

答 早い時期に分かれれば、協力できる。志太榛原の5市2町の議長会もあるので、その中で話を出し、お願いしていきたい。

問 以前は、議員が観光協会や各種団体に入ってくれていた。議員も自分の目で現場の情報収集をすべきではないか。

答 会員として入ることは問題ないと思う。ただ、

監事とか理事とかいった役員に入るのは、市が補助金を出している団体ではどうかと思う。

時間の関係で、双方の考えがしっかりと集約することはできなかったが、これからも連絡と情報交換を密にして、よりよい観光産業のあり方を模索していきたい。



7月14日に吉田町で開催された「志太榛原五市二町議長協議会」において、スポーツイベント等を誘致した場合の施設使用について協力いただけるよう近隣市町の議長にお願いをしました。



市内の各種団体ごとに代 を話しあう「意見交換会」

文教厚生委員会

5月16日に榛原歯科医師会との意見交換会を実施

当委員会のテーマとして「地域医療について」を掲げ、地域の医療体制や高齢化社会を迎える中で懸念される課題などについて調査研究に取り組んでいる。

本年2月に実施した榛原医師会との意見交換に続き、5月16日（金）、榛原歯科医師会において、榛原歯科医師会との意見交換会を開催した。

歯科医師会良知会長の挨拶に続いての協議事項では、事前に提出した質問に対し7人の先生方から回答を頂いた。なお質問事項並びに主な回答は次の通りである。

問 ※ジェネリック（後発）医薬品の利用促進に対する考え方について。

答 患者自身の賢い選択

も必要だ。成功事例もあるのでぜひこれを牧之原市でも進める検討を。ただ、医者によって利用促進への考えが違うのも現状ではある。

問 歯科開業医の高齢化問題について。

答 高齢化はないと考える。逆に歯科医は過剰だと言われることもある。

問 地域における歯科開業医の競争問題について。

答 この地域での問題は感じない。

問 往診制度について。

答 在宅歯科診療。平成15年度から実施している。このことは行政などにもアピールして、往診の機

材などの準備はあるが実績が少ない。

問 訪問歯科診療、在宅訪問歯科医療も残念ながら実績が少ないのでもっとPRをする必要がある。

問 歯科開業医と榛原総合病院との連携について。

答 紹介状も出すし、意見交換もやっているのので良好な状態である。

問 現在、歯科医師会が問題点として主に考えていること。

答 歯科条例「歯科口腔保健法」について検討している。口腔ケアを推進するために条例が後ろ盾になることもある。

ただ予算付けなどの問題もあるので議会のご理解をお願いしたい。

問 歯科医師会から行政、議会に対しての意見・要望などについて。

答 市の障がい者計画に歯科医のことについてはほとんど書かれていないので障がい者の通院がエポケットになっている。でもらえればいつでも見る体制にあるので気兼ねなく受診をお願いしたい。残念ながら限られた時間であったため、深い意見交換はできなかったが、前述のとおり7人の先生方からは丁寧で的確な回答を戴き、大変勉強になった。

答 フツ素の関係は県内でも先進的に行っている。「住民歯科会議」など住民自らの健康を維持するために会議ができた。*「歯みんぐ」の活動がスタートしたので、この辺も継続して。その意味でも条例で継続できるよう環境を整えて欲しい。障がい者の件は受診し



※歯みんぐとは「住民の目線で住民の言葉で歯の大切さを伝えたい」と平成22年度に結成されたグループ。成人から子どもへの歯周病予防啓発のほか、小学校低学年へ紙芝居によるむし歯予防の啓発活動を行っている。

※ジェネリック医薬品とは、先発医薬品の特許が切れた後に、その同じ有効成分で製造・販売される医薬品。

総務建設 委員会

づくりについて」

興状況や被災後
察研修をした。

7月2日 岩手県大槌町
7月3日 岩手県陸前高田市
宮城県女川町
7月4日 宮城県仙台市

7月2日(水)から4日(金)まで2泊3日の日程で、東日本大震災で大津波に襲われた岩手県大槌町、陸前高田市、宮城県女川町、仙台市の2市2町へ視察に赴いた。先方の自治体には、事前にそれぞれ

① 津波対策(防潮堤)について
② 防災高台移転について
③ 災害時の議会対応について

の3点を「質問書」として提出し、その内容に沿って担当者と意見交換を行い、現地も視察した。



浸水からの復興計画の説明(大槌町)

岩手県大槌町

大津波で町の中心部が壊滅的被害を受け、当時の町長をはじめ全町民の8%に及ぶ1284の人命が失われた。現在、海沿いの6地区において総額350億円の国の復興予算で、最高14・5%に及ぶ防潮堤の整備計画が進んでいた。

その高さや形状、浸水地域の住宅街の高台移転などは「地域住民との話し合いを重ね、合意を得ながら進めている」とのことだった。現実に市街地がなくなった町とわが市の防災対策を同一視はできないが、いざという時の抜本的な復興計画や住民対策は参考になった。

岩手県陸前高田市

震災で、市の人口の7・8%の1800人以上が死亡、296人の市役所職員のうち68人が命を落とした。20人だった市会議員も2人が亡くなったという大変な人的損失を被ったため、県や国、全国の自治体から幹部職員の派遣を受けるなど、市役所と議会が丸となって復興に取り組んでいる印象を受けた。

防潮堤については沿岸各地区で話し合いがもたれ、地域の実情と要望に沿った高さを設定されていた。防災集団移転促進事業は、集落や地区住民の合意の下、被災住宅5戸以上まとまったの移転が進展中であった。



震災時よりそのままの建物

委員会視察報告

総務建設委員会では、「市の地震防災対策について」及び「活力あるまちを研究テーマとし、調査研究を進めている。

すでに各種団体との市民会議を開催し、今回は、東日本大震災からの復の対応などをわが市の防災体制づくりに役立てるよう岩手県・宮城県へ視

宮城県女川町

震災前の年間の一般会計予算が60億円だったが、被災後は平成30年度までに2000億円もの国費が投じられている。津波浸水が予想される住宅地は高台に集団移転し、公共施設、学校、病院、駅舎などや商業施設は基礎



ダンプカーでは10年かかる土砂を1年で運搬できる120億円のベルトコンベアー
(陸前高田市)



女川陸上競技場跡に建てられた鉄筋の災害公営住宅



宮城県仙台市

東北唯一の政令指定都市として、被災者の生活再建支援、多重防御を取り入れた津波防災対策、住宅再建、復興土地区画整理、復興公営住宅の整備事業が迅速に進められていた。土地区画整理事業以外は5年間で実施し、平成28年度中には終了するという。

災害時の議会対応については、昨年2月に「仙台市議会災害対応指針」を策定。

当局への必要な協力や

からの嵩上げが基本方針である。10以上のスローパー堤防は町全体としては反対し、代わりに海岸沿いを走る国道に、5.4の盛土を施し、レベル1の津波を食い止めるという新しい街づくりの方針・計画のもとに復興事業が急ピッチで進んでいた。

支援、国や県へバックアップの要請を行うなどの「基本姿勢」をまとめている。また、全議員に「災害時連絡先確認カード」を配布。非常時には議会事務局への連絡を義務付けていた。こうした取り組みは、具体的かつ実用的で、本市議会でも有効な施策であると感じた。

(委員長 本杉光雄)



議員が常に携行しているカード

文教厚生委員会

関係のある「認
の最先端である

7月8日

7月9日

7月10日

千葉県山武市「認定こども園」

千葉県鴨川市「亀田総合病院」

千葉県旭市「国保旭中央病院」

東京都調布市「調布市立図書館」

東京都立川市「地域包括ケアシステム」

来年4月から、国の「子ども・子育て制度」が大きく変わり、その目的の一つとして「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」ということがあり、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ「認定子ども園」制度が改善される。そこで、家庭の保育状態に関係なく入園でき、幼児教育と保育を一体的に実施する施設で

千葉県山武市 「認定子ども園」

文教厚生委員会では、7月8日～10日の3日間で、東京・千葉方面への視察研修を実施。当委員会では、調査研究のテーマとして「地域医療について」を掲げ、地域の医療体制が抱える問題などを中心に委員会活動を行なっていることもあり、今回の視察目的は、地域医療のあり方について重点を置き、市の重要課題に関する視察研修を行なった。

千葉県鴨川市にある亀田総合病院は、「もう一度入院したくなる病院」と言われ、患者さんに対する徹底したサービスが行き届き、院内には美容院、ショッピングセンター、

千葉県鴨川市 「亀田総合病院」



特徴的なデザインを持つ建物は機能的でもある



まるでデパートかと思ふほどの充実ぶりと賑わいを見せている

コインランドリー、ペットを預かるお店、メガネ店、フラワーショップや、素晴らしい眺望のレストラン、ヒーリングラウンジなど、様々な施設が備えられている。これらは、すべて利用者の希望に合わせる姿勢の積み重ねとことであつた。



広範な敷地にさまざまな店舗が展開

の隅々にまで気配りの行き届いた病院らしからぬ心地よい施設であつた。

委員会視察報告

文教厚生委員会の所管は、教育委員会、健康福祉部であり、今回は所管に
定子ども園」、「医療機関」、「図書館」、「地域包括ケアシステム」の各分野
自治体などを訪れ、視察・研修した。



最先端医療により患者が途絶えない

旭中央病院は、開院以
来60年間にわたり地域の
中核病院としての役割を
果たし、多くの自治体病
院が赤字経営に苦しむ中
でも開院以来黒字経営を
続けている公立病院であ
る。一貫して地域医療に
取り組み、旭市自体は人
口7万人の比較的小規模
のまちであるが、千葉県
東部から茨城県までを含
む人口約100万人の基
幹病院として、毎日3、
000人近い外来患者の
利用がある。「すべては
患者様のために」の基本

千葉県旭市 「国保旭中央病院」

理念のもと、一人でも多
くの患者を受け入れるこ
とに力を注ぎ、日本最大
級の公立病院に発展した。

東京都調布市 「市立図書館」

牧之原市では、相良保
健センターの2階に相良
図書館、榛原文化センタ
ー内に榛原図書館があ
るが、どちらも小規模
で、とても図書館として
機能を果たしているもの
ではなくかねてより市内
に中央図書館設置の要望
が強い。そこで、調布市
立図書館を視察研修し
たが、調布市は人口約
22万6000人のまちで、
図書館は中央図書館を中
核として、10の分館があ
る。歩いて行ける距離を
1キロとして考えてコンパ
スを引きいたら、このよう
な数の図書館が必要にな
ったとのことである。公
立図書館は、そのまちの
文化度のバロメーターと
も言われることがあるが、

牧之原市における公立図
書館のあり方を考える時
が来ていることを強く感
じた。



全館合わせ、100万冊を超える圧倒的な蔵書数

東京都立川市 「地域包括ケアシステム」

牧之原市の65歳以上の
高齢者は、1万3000
人、高齢化率は26・8％
で、全国平均23・3％に
比較しても高い数字で、
少子高齢化が速いスピー
ドで進展している。今後、
地域福祉の重要性が増し
て、「地域包括ケアシステ
ム」の構築が急務となっ

ているが、行政、社会福
祉協議会、地域包括支援
センターの協働による、
システム構築の取り組み
が進んでいる東京都立川
市の地域福祉の現状につ
いて視察研修を行なった。

今回の視察は、文教厚
生委員会の所管について
幅広い研修を行なったが
全て市の重要課題と位置
づけられるものであり、
視察研修の成果が、今後
住民福祉に充分反映され
るように委員会活動を行
なっていきたい。

(委員長 太田佳晴)

務組合とは…

している10の「一部事務組合」を不定期に紹介
隣の自治体同士が共同で実施することを目的とし
項)

の承認などを行う「組合議会」に、牧之原市議会
「組合議員」として活動しています。

町牧之原市広域施設組合』です。

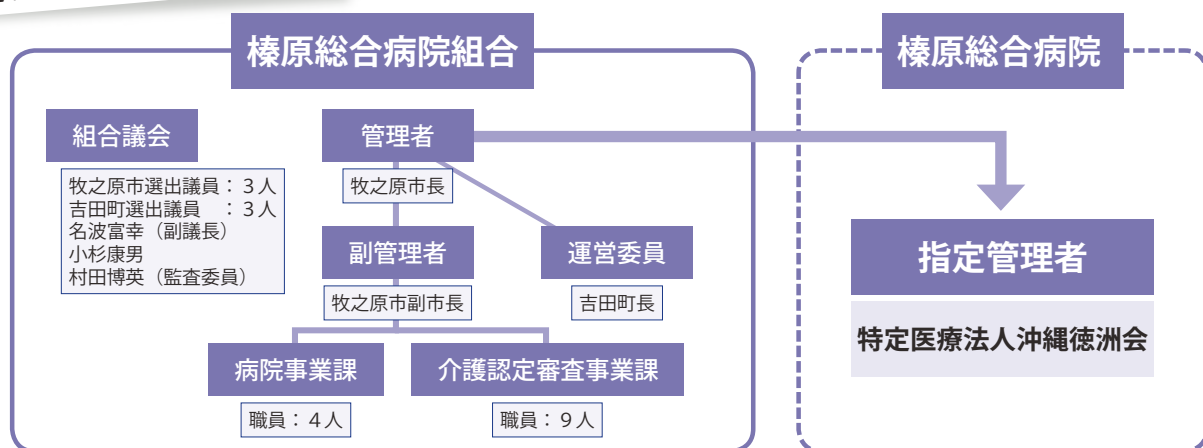
榛原総合 病院組合

病院の建設と経営を共同で行うために設置
された組合で、現在では、病院経営に関する
ことの他、介護認定審査、障がい者の介護給
付等に係る審査判定に関する事務も共同処理
しています。

(沿革)

- 昭和27年 川崎町、吉田町、勝間田村、坂部村、初倉村の5町村により、国民健康保険川崎町外4ヶ町村組合を設立
- 昭和29年 国民健康保険共立榛原病院として、組合直営の診療病院を開院
- 昭和30年 川崎町、勝間田村及び坂部村の合併により榛原町が誕生したことで、組合名義を国民健康保険榛原町外2ヶ町村組合に変更
- 昭和35年 総合病院の名称許可を得て、病院名称を国民健康保険共立榛原総合病院に改名
- 昭和36年 初倉村が島田市との合併により国保組合を脱退したことで、組合名義を国民健康保険榛原町吉田町組合に変更
- 昭和52年 国民健康保険共立榛原総合病院を廃止
榛原町、吉田町、相良町、御前崎町の4町により榛原総合病院組合を設立。榛原総合病院として開院
- 平成16年 御前崎町が浜岡町との合併により病院組合を脱退
- 平成17年 榛原町、相良町の合併により牧之原市が誕生したことで、病院組合は1市1町の構成となる。
- 平成22年 榛原総合病院の運営形態を指定管理者制度に移行
特定医療法人沖縄徳洲会と榛原総合病院の指定管理者による管理に関する協定書を締結

組織構成図



※指定管理者制度とは、公の施設の管理運営を民間事業者の法人や団体に代行させることができる制度

(榛原総合病院組合の事業概略)

- 1 病院施設設備の管理、企業債償還管理、指定管理に関する業務
- 2 介護保険に基づく介護認定審査及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく介護給付等に係る審査判定に関する業務

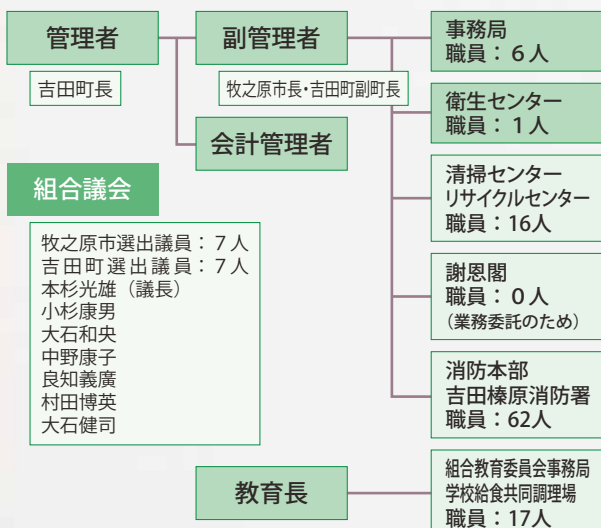
(榛原総合病院組合議会)

- 1 定例会 年2回開催
- 2 榛原総合病院組合の予算及び決算の審査、条例の制定及び改廃、組合運営に関する議決

吉田町 牧之原市 広域施設組合



組織構成図



今号から牧之原市が隣接する市町と共同で運営します。同組合は、行政サービスの一部事務を近て設置される組織です。（地方自治法284号2
そのすべての施設を管理し、ルール作りや予算の中からそれぞれ担当の市議会議員が定められ
連載第1回目は『榛原総合病院組合』と『吉田

吉田町牧之原市広域施設組合

吉田町と牧之原市（旧榛原町地区）にまたがる広域的な行政サービスを提供するために1961年（昭36）に設立された組織です。

組合の行っている業務には①し尿処理業務（衛生センター）②ごみ処理業務（清掃センター「さんあーる」）③ごみ処理業務「リサイクルセンター」④火葬業務（謝恩閣）⑤消防業務（消防本部・吉田榛原消防署）⑥学校給食業務（吉田榛原学校給食共同調理場「給食センター」）があります。



このうち消防業務に関しては、2年後の平成28年4月より島田市、川根本町とともに「消防救急広域化」のため、組織と設備ごと静岡市に業務を委託することが決まっています。

組合の所在地は牧之原市細江6664番地3
(吉田町牧之原市広域施設組合議会)

1. 定例会 年2回開催
2. 吉田町牧之原市広域施設組合の予算及び決算の審査、条例の制定及び改廃、組合運営に関する議決



全国市議会議長会第90回定期総会において、小杉康男議長が評議員としての貢献により表彰を受けました。



議会広報特別委員会 視察研修

7月23～24日の日程で三重県亀山市議会、いなべ市議会を視察しました。詳細については次号でお知らせします。



さがら灯ろう流し



初盆、先祖の霊を弔う。東日本大震災からの復興を祈願し、犠牲者の霊を弔う。相良を元気に。子どもたちの思い出になるように8月15日に灯ろう流しが行われます。

夏の風物詩となったさがら灯ろう流しが萩間川で行われます。4年前から相良の有志が、昔ながらの情緒の復活と相良を元気にしよう、子どもたちの思い出になるようにと始めました。大小合わせて600余りの灯ろうが夕闇の川面に幻想的な光景を映し出しています。地域の絆と活力が生まれています。(植田)

議会広報特別委員会

委員長 鈴木千津子
副委員長 大石健司
委員 村田博英
植田博巳
名波喜久
平口朋彦

編集後記

9月定例会の日程	
3日(水)	提案説明
9日(火)	通告質疑
18日(木)	一般質問
19日(金)	一般質問予備日
22日(月)	最終日
26日(金)	最終日
相良庁舎4階議場 9:00～	

牧之原市議会定例会（一般質問等）については、ホームページに掲載されています。

「まきのほら議会だより」は再生紙を使用しています。